

第29回 びんご多文化共生連続ワークショップ

日時：2026年10月18日(日) 13:30~16:30

場所：福山市立大学 小松安弘記念館 講義室 A・B

定員：70人 (定員を超えた場合は地元優先とさせていただきます。)

参加費：無料 (事前申込が必要です。) 申込締切：10月15日(木)

外国籍住民の高齢化と多文化ケア

〔開催趣旨と概要〕

外国籍住民や労働者が増えるなか、彼（女）らの高齢期の暮らしや支援はまだ十分に議論されていません。長年日本で暮らしてきた方々も高齢化が進み、介護ニーズが高まる反面、現場では言語や文化の違いで対応に悩むケアマネジャーや介護職員が多く存在します。

本ワークショップでは、京都で長年「多文化ケア」を実践してきた講師をお招きし、これからの多文化ケアについて学びを深めます。

講師：南 珣賢（ナム スンヒョン）さん

NPO 法人エルファ事務局長

〔プロフィール〕

NPO法人エルファの在日コリアン高齢者聞き取り調査のボランティア 調査員をきっかけに、2002年から同団体の事務局長として勤務。京都外国人高齢者・障がい者生活支援ネットワーク「モア」で多文化福祉委員として活動。

また多文化の背景を持つ住民グループを繋げるきょうと多文化支援ネットワークに参加し、多様な文化的背景の住民をつなぐ活動をする。



講師：村木 美都子（むらき みとこ）さん

NPO 法人東九条まちづくりサポートセンター（まめもやし）事務局長

〔プロフィール〕

コリアンや他の外国ルーツのある住民が5割弱の京都市東松ノ木市営住宅の管理と住民の生活支援を行う。京都外国人高齢者・障がい者生活支援ネットワーク「モア」の多文化福祉委員、きょうと多文化支援ネットワークに参加し、多様な背景の住民と団体をつなぐ活動をする。



◆講師：福山市立大学都市経営学部 教授 牧田幸文
テーマ「福山市の外国籍住民のケア問題とこれから」

〔プロフィール〕

高齢者の地域での暮らしについて研究。2010年に実施された京都市外国籍高齢者調査を通じて南氏と村木氏に出会う。きょうと多文化支援ネットワークの代表を務める。

■申込方法：右のQRコードを読み取るか、下記のURLからお申込みいただけます。

<https://forms.gle/yAMX3Z8Gz2NdRPhs6>

共催：福山市立大学地域連携センター、びんご多文化共生研究会、
びんご日本語多言語サポートセンター「びるど」

後援：中国新聞備後本社、エフエムふくやま

